

天文学とプラネタリウム

第140回



今月のお題

ネコと人と宇宙と



みなさん、ネコ、好きですか？ 私はそうでもなかったのですが、最近ちょっと気になる存在です。

高梨直紘（東京大学）

平松正頭（国立天文台チリ観測所）



www.tenpla.net

最近、ネコがアツいらしい。

ネットで、テレビで、雑誌で、いろんなところにネコが登場してネコ業界が盛り上がっているようです。和歌山の駅にマスコットのな「たま駅長」がいたことくらいは知っているのですが、小学生の頃のアレルギー検査で弱い陽性反応が出て以来これまで積極的にネコに触れ合ってこなかったこともあり、ネコの魅力に気づかないまま今に至る私。しかし最近、ちょっとネコが気になっていきます。

皆さんもお気づきでしょうか。全然ネコに関係ないファッション誌がネコ特集を組んだり、政治経済番組のスタジオになぜかネコが歩いたり、また SNS でネコのかわいらしい（不思議な）しぐさが多く流れてきたと思ったらその話題をテレビまで取り上げたり。知らない間にメディアにはネコがあふれています。宇宙が同じように身近にあふれていたらいいのに、と思う私にとってこれは見逃せない現象です。何となく癒されるからなのか、それともネコ好きが実はものすごくたくさん

なんてその層にアピールしているのか、これまであまりネコに興味がなかった私にとっては謎の現象でしかありません。確かにかわいいとは思っていますが、こんなに広まるとは。

ネコ好きの人が政治経済の番組を見るようになる、ということがどれくらいあるのかわかりませんが、一般論としては自分が興味のあることを入り口にそれと隣接する別のことに興味が生じる、ということは確かにあり得るでしょう。それは天プラがいろいろなコラボレーションによって宇宙と人をつなぐ場を作ろうとしてきたことにもつながります。各地で活躍する「ゆるキャラ」たちもそんな狙いを背負って誕生したものだと思います。

実は国立天文台の三鷹の本部にも、伝説的なマスコットが存在しました。1990 年ごろから守衛所で飼われるようになったラッキーという犬です。2007 年に他界するまで、構内を巡視する姿や守衛所でのんびりする姿が職員にも見学者にも人気でした（※国立天文台ニュース 2006 年 3 月号参照）。SNS の時代ならもっと話題になっていたかもしれませんが、少し時代の先を行き過ぎていたのが残念ですが、今の時代ならやはりネコなのでしょう。文化財登録された大正建築でまろむネコ、



ネコの魅力を理解すべく研究中の筆者。

巨大な望遠鏡と木製のドームのわきにたたずむネコ。絵になりそうです。「にゃんこ台長」あるいは「にゃんこ広報担当副台長」として天文台の広報に絶大な貢献をしてくれることでしょう。まずは、私自身がネコの魅力を理解せねば……。

140

140